

スマートサイホン[®]
(ディスポーザ付キッチン排水系統)

メンテナンスマニュアル

【一般仕様】

最新版マニュアルはこちらからご確認ください。



目 次

項 目	頁
1. 各種問い合わせ処置部位一覧	1
2. 各種問い合わせの対応方法	2～9
2-1. 準備	2
2-2. 部材の違い	3
2-3. 基準階仕様と最下階仕様	3
2-4. 詰まり/排水不良	4～7
2-5. 漏れ	7
2-6. 臭い	8
2-7. 音	8
2-8. チャンバー内の洗浄	9
3. 確認・復旧・交換作業時の注意点	10～11
3-1. トーラー作業	10
3-2. エアレシーバーの扱い	10
3-3. 音の確認方法	10
3-4. 通気弁の確認	11
3-5. トルクレンチ	11
3-6. 袋ナットの締め付け	11
4. 復旧後確認	12～14
4-1. 投入口の確認	12
4-2. トラップ取り付け時のエルボの向き	12
4-3. ディスポーザへの給水ホースのキンク	12
4-4. ディスポーザへの給水	12
4-5. 確認：キッチントラップユニット	13～14
4-6. その他	14
5. 高圧洗浄	15～34
5-1. 住戸別仕様	15
5-2. 設定圧力	15
5-3. 準備部材	16～17
5-4. 洗浄手順	18～34
6. その他、注意事項	35～36
7. 予備品・道具	37～39
7-1. 予備品	37～38
7-2. 予備品・道具の購入	39
8. チェックシート	39～40

1. 各種問い合わせ処置部位一覧 (専門業者様向け説明事項)

□排水に関する問い合わせの連絡を受け、現地での状況確認後、下表を参照して対応してください。

問い合わせ内容から詳細への分け方については、2.項を参照してください。

問い合わせ内容	問い合わせ内容詳細	対応・処置
排水不良	ディスポーザ運転時に庫内から水が溢れない	—
	ディスポーザ運転時に庫内から水が溢れ出す	
	庫内の汚れ、歯詰まり	ディスポーザ
	配管詰まり	スマートサイホン
	食洗機排水不良	
	食洗機排水ホースの詰まり	食洗機
	食洗機接続部のサイホン配管の詰まり	スマートサイホン
	食洗機内に排水が逆流する	食洗機
ディスポーザの稼働時間が長い	その他	食洗機
	排水不良	(排水不良参照)
	排水不良改善後でも稼働時間が長い場合	ディスポーザ
漏れ	通気弁からの漏れ	スマートサイホン
	袋ナットからの漏れ	スマートサイホン
	排水掃除口からの漏れ	スマートサイホン
	食洗機排水ホース接続部からの漏れ	食洗機
臭い	ディスポーザ投入口からの臭い	
	封水の量が少ない、封水が濁っている	スマートサイホン
	封水に問題なし	ディスポーザ
	キッチンシンク下からの臭い	
	ディスポーザのゴムフレキ・エルボからの臭い	ディスポーザ
	通気弁からの臭い	スマートサイホン
	エアレシーバーからの臭い	スマートサイホン
	臭い発生場所が確認できない場合	—(経過観察)
キッチンシンク周辺の音	トラップ(通気弁)からのコロコロとした乾いた音	スマートサイホン (正常音であることを伝える)
	トラップ(通気弁)からのゴボゴボとした重たい音	スマートサイホン
	ディスポーザ稼働時の音	ディスポーザ
	食洗機からの異音	食洗機

※具体的な対応・処置や連絡方法などは、物件ごとで異なる場合があります。

2. 各種問い合わせの対応方法 (専門業者様向け説明事項)

2-1. 準備 (必要工具など)

(1) 市販品：

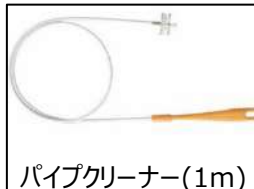
- ・ドライバー ・ スパナ ・ モンキーレンチ ・ 樹脂製プライヤー ・ バケツ ・ 養生シート
- ・ 清潔なタオル ・ ポリ袋 ・ 残水受けトレイ(高さ 30mm 以下)
- ・ ゴム板(300mm 角・若しくはφ300mm 程度)*溜め洗いをを行うため、シンク排水口を止水する板
- ・ ソケットドライバー(対応 10mm) ・ ミニラチェット ・ パイプクリーナー(1m・5m)



ソケットドライバー



ミニラチェット



パイプクリーナー(1m)



パイプクリーナー(5m)



樹脂製プライヤー

(2) 専用工具：購入方法などは、7-2.を参照ください。



トーラー



トルクレンチ

(3) 治具



清掃口(タイプ 1)
開閉治具



キッチントラップ
ユニット(タイプ 1・2)
溢れ防止治具



清掃口(タイプ 1)
溢れ防止治具



清掃口(タイプ 2)
溢れ防止治具



キッチントラップ
ユニット(タイプ 2)
作業用蓋

【サクションポンプ、ローポンプ、ラバーカップは使用しないこと。異物除去などが逆に困難になります。】

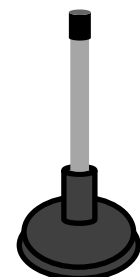
(キッチントラップユニットを外した状態であれば可)



サクションポンプ



ローポンプ







ラバーカップ

2. 各種問い合わせの対応方法 (専門業者様向け説明事項)

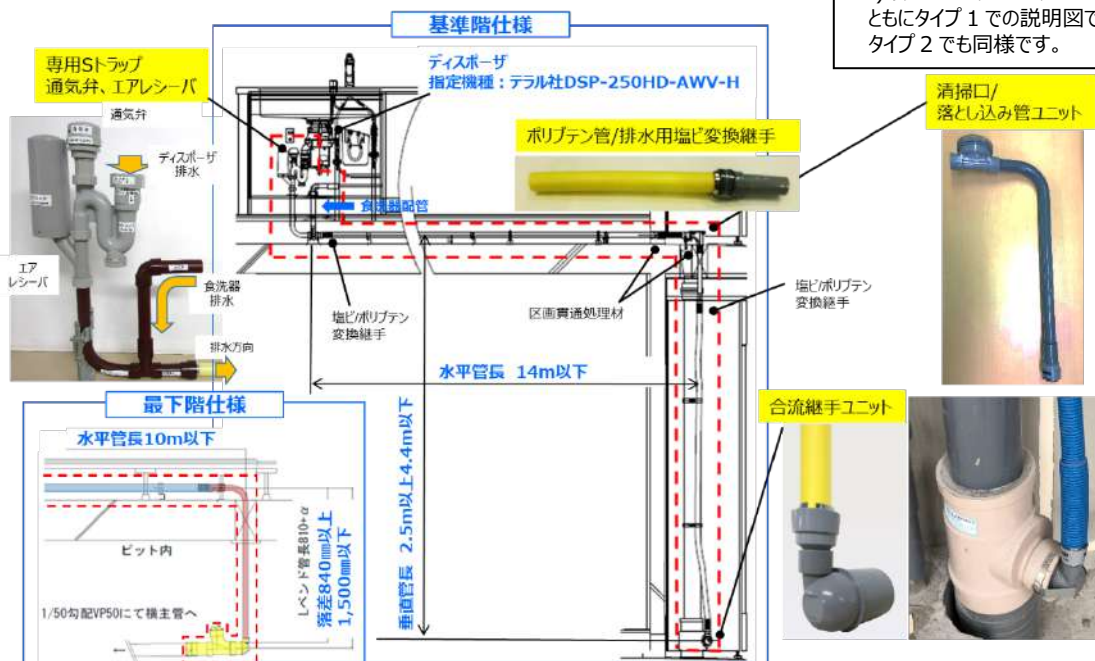
2-2. 部材の違い

キッチントラップユニットと清掃口には構造の異なる 2 種類があります。必ず処置前に形状を確認してください。
 対応する作業が異なります。

キッチントラップユニット	キッチントラップユニット(タイプ 1) 	キッチントラップユニット(タイプ 2) 
(メーターボックス内) 清掃口	清掃口(タイプ 1) 	清掃口(タイプ 2) 

2-3. 基準階仕様と最下階仕様

- (1) 基準階仕様：共用廊下まで水平管が設置され、メーターボックス内に清掃口があります。
 下階に垂直管が設置されています。
- (2) 最下階仕様：住戸内の二重床内で、配管がピット下などヘスラブ貫通して設置されています。
 住戸内からの作業、ピット下からの作業も可能です。



2. 各種問い合わせの対応方法 (専門業者様向け説明事項)

※以降では、説明のために透明な部材で表している部分もあります(除く清掃口)。実際には有色品になります。

2-4. 詰まり/排水不良

2-4-1. 住戸内作業

順序	工程／作業手順	写真／使用工具など
1	部屋番号を確認してください。	—
2	<p>(1) 基準階仕様の場合、水平管長と汚れを確認してから、3と4の作業を行ってください。</p> <p>(2) 最下階仕様(清掃口が当該フロアのメーターボックスにない)の場合はそのまま4と5の作業を実施してください。</p> <p>(3) タイプ2を開閉する場合は、ネジ切り防止のため、高出力の機械の使用は避け、ハンディタイプを使用ください。</p>	   <p>タイプ1 タイプ2 ハンディ</p>
3	<p>【準備作業/住戸外】清掃口から垂直管を洗浄してください。</p> <p>清掃口に溢れ防止治具をセットします。</p> <p>最初は5mのブラシ付きパイプクリーナーが適しています。</p> <p>汚れが硬い場合は、15m トーラーを使用してください。</p> <p>排水があふれ出る場合は、部屋内からの作業に切り替えてください。</p>	 
4	<p>(1) シンクに水が溜まっている場合は、デスポーザの底が見えるまでポンプで水を排出してください。</p> <p>(2) 写真のようにトラップの下部にバケツを置き、下部の掃除口もしくはデスポーザと連結する袋ナットを緩めてください。更にそのナットごと少し上へ持ち上げると残っている水が排出できます。</p>	  <p>タイプ1 タイプ2</p>
5-1	<p>【キッチントラップユニット(タイプ1)】簡易清掃</p> <p>(1) 掃除口と通気弁を外し、1mのパイプクリーナーで赤矢印の方向に洗浄を行ってください。</p> <p>(2) 異物が捕捉できた場合は撮影してください。</p> <p>(3) 通気弁は、専用トルクレンチで4N・mで締め付けてください。</p> <p>回復しない場合は6.へ</p>	  
5-2	<p>【キッチントラップユニット(タイプ2)】簡易清掃</p> <p>(1) 4.で緩めた袋ナットを締めてください。</p> <p>(2) 写真の矢印の小さい袋ナットを緩め、上部のレシーバーユニットを外してください。</p> <p>(3) 中に滑りパッキン(白)とゴム部品(黒：整流板)があるので取り外します。外した部品の紛失に気を付けてください。</p> <p>回復しない場合は7.へ</p>	 
6	<p>【キッチントラップユニット(タイプ1)】トーラー清掃準備作業</p> <p>(1) キッチン背板から固定されているため、赤丸部分からボルトを外しキッチントラップユニットを分解してください。</p> <p>(2) トラップを外して見える配管部から7.の作業を行います。</p>	 

2. 各種問い合わせの対応方法 (専門業者様向け説明事項)

2-4. 詰まり/排水不良

2-4-1. 住戸内作業

順序	工程/作業手順	写真/使用工具など
7	<p>(1) 15m トーラーで水平管洗浄を実施してください。</p> <p>(2) 異物が捕捉できた場合は撮影してください。</p> <p>【補足】右図は基準階仕様を表した図になります。垂直管部分は事前に3で洗浄してください。最下階仕様は水平管部分が最長 10m であることと垂直管を洗浄するための清掃口がないため垂直管部分も合わせて洗浄してください。垂直管部分は 0.8～1.5m のため、15m のトーラーで到達可能です。</p> <p>注)タイプ 1 での説明図ですが、タイプ 2 でも同様です。</p>	<p>【トーラー作業】</p> <p>【15m トーラー】 【パイプクリーナー(5m)】</p>
8-1	<p>【キッチントラップユニット(タイプ 1)】</p> <p>トラップを組み立ててください。</p>	—
8-2	<p>【キッチントラップユニット(タイプ 2)】</p> <p>5-2.で外したゴム部品と滑りパッキンを装着し、袋ナットを締めてください。</p> <p>ゴム部品と本体には向きがあるので気を付けてください。</p> <p>(直線部分が合うように、共に D カット形状をしています。)</p>	
9	<p>【住戸外】</p> <p>清掃口と中子の清掃後状態を確認し、封印シールを貼りつけてください。</p>	
10	<p>(1) 復旧後はマーカで印を付け、封印シールを貼りつけてください。</p> <p>(2) ディスポーザ運転もしくは水栓を全開吐水してください。</p> <p>(3) 排水状態 (漏れ・音) を確認してください。</p>	—
11	<p>入居者様に日頃のお手入れ方法を説明し、完了報告をしてください。</p>	—

2. 各種問い合わせの対応方法 (専門業者様向け説明事項)

2-4. 詰まり/排水不良

2-4-2. 共用廊下作業

※効率的に解消するには、共用廊下作業が適していることが多いため、住戸内作業よりも優先実施ください。

順序	工程／作業手順	写真／使用工具など
1	部屋番号を確認してください。	—
2	(1) 基準階仕様の場合、水平管長と汚れを確認してから、3と4の作業を行ってください。 (2) タイプ2を開閉する場合は、ネジ切り防止のため、高出力の機械の使用は避け、ハンディタイプを使用ください。	   タイプ1 タイプ2 ハンディ
3	【準備作業/住戸外】 清掃口から垂直管を洗浄してください。 清掃口に溢れ防止治具をセットします。 最初は5mのブラシ付きパイプクリーナーが適しています。 汚れが硬い場合は、15m トーラーを使用してください。 排水があふれ出る場合は、部屋内からの作業に切り替えてください。	 
4	【キッチントラップユニット(タイプ2)】トーラー清掃準備作業 2-4-1.の作業の中の、順序4.と5-2.の作業を実施し、右写真の治具であるトラップ作業用蓋をセットしてください。 【理由】 トラップ内部にセットされているゴム部品(黒：整流板)がトーラーの先端による破損を避けるため。	  トラップ作業用蓋 整流板
5	(1) シンクに排水が溜まっても垂直管からあふれが無い場合、また水栓吐水が可能な場合は少量吐水してください(詰り物流下の促進)。 (2) 清掃口に治具をはめ、トーラーを前後させながら立ち上がり部まで押し込んでください。途中硬い感触がある区間では、トーラーのチャックを閉じ底面から見て時計回りにトーラーを回し、先端をねじ込んでください。感触が得られたら、勢いよく後方へ引いてください。 (3) (2)を繰り返し、末端まで到達したら、トーラーを後退させてください。 清掃口をウェスで抑え、異物・堆積物を垂直管側へ流下させてください。 (4) 異物が捕捉できた場合は撮影してください。 (5) 清掃口を閉じディスプレイ運転もしくは水栓を全開吐水してください。	  タイプ1 (溢れ防止治具) タイプ2 (溢れ防止治具)  
6	清掃口と中子の清掃後状態を確認し、封印シールを貼りつけてください。	 
7	(1) ディスプレー運転もしくは水栓を全開吐水してください。 (2) 排水状態(漏れ・音)を確認してください。	—
8	入居者様に日頃のお手入れ方法を説明し、完了報告をしてください。	—

2. 各種問い合わせの対応方法 (専門業者様向け説明事項)

2-4. 詰まり/排水不良




2-4-3. 食洗機排水不良

順序	工程／作業手順	写真／使用工具など
1	2-4-1.や 2-4-2.を実施しても食洗機からの排水が改善されない場合が該当します。	—
2	矢印部のゴムジョイントを外し、蛇腹ホースの詰まりではない場合、ジョイント部から先へパイプクリーナーを通してください。	 
3	L 型キッチンで食洗機がシンクから離れている場合、食洗機の隣接部分に右写真のような清掃口があるので、同様の作業を実施してください(袖扉の奥や背板にある点検口の奥)。	L 型キッチン用 清掃口  蓋「開」 

2-5. 漏れ

2-5-1. 通気弁漏れ

漏れ箇所を確認の上、通気弁からの漏れの場合は、部品交換を実施してください。

順序	工程／作業手順	写真／使用工具など
1	部屋番号を確認してください。	—
2	通気弁・袋ナット・底板・床下点検口に漏れが無いかを確認してください。	  
3	(1) 通気弁から確認⇒通気弁アタッチメントユニットを交換してください。 (2) 袋ナットから確認⇒増し締めを行ってください。	—
4	(1) 復旧後はマーカで印を付け、封印シールを貼りつけてください。 (2) ディスポーザ運転もしくは水栓を全開吐水してください。 (3) 排水状態 (漏れ・音) を確認してください。	—
5	入居者様に日頃のお手入れ方法を説明し、完了報告をしてください。	—

2-5-2. 食洗機排水ホース接続部からの漏れ

順序	工程／作業手順	写真／使用工具など
1	矢印部のゴムジョイントを差し直してください。	

2. 各種問い合わせの対応方法 (専門業者様向け説明事項)

2-6. 臭い



臭いはスマートサイホン以外に起因する場合があります。

可能性を含めてスマートサイホンの部品に関係すると思われる場合は、以下手順を参考に交換してください。

順序	工程／作業手順	写真／使用工具など
1	部屋番号を確認してください。	—
2	(1) 通気弁・トラップからの臭いや漏れを確認してください。 (2) 通気弁から確認⇒通気弁アタッチメントユニットを交換してください。 (3) エアレシーバーから確認⇒エアレシーバーユニットを交換してください。 (タイプ1のキッチントラップユニットの場合のみ) (4) 双方から確認⇒キッチントラップユニットを交換してください。	
3	投入口・ゴムフレキ・エルボからの臭いを確認してください ⇒臭いがある場合はデスポーザメーカー対応になるため、依頼元へ連絡してください。	
4	トラップ下部に掃除口がある場合は、外して封水を確認してください。 封水が少ない場合は、通気弁からの空気取り込みが悪く、破封している 可能性を考え、部品を交換してください。 キッチントラップユニット(タイプ1)⇒通気弁アタッチメントユニット キッチントラップユニット(タイプ2)⇒エアレシーバー／通気弁セット	 通気弁アタッチメントユニット エアレシーバー
5	(1) 復旧後はマーカで印を付け、封印シールを貼りつけてください。 (2) デスポーザ運転もしくは水栓を全開吐水してください。 (3) 排水状態(漏れ・音)を確認してください。	—
6	入居者様に日頃のお手入れ方法を説明し、完了報告をしてください。	—

2-7. 音

スマートサイホンは正常時でも一定の音が発生します。動画例を参考に確認してください。

順序	工程／作業手順	写真／使用工具など
1	部屋番号を確認してください。	—
2	デスポーザ運転もしくは水栓を全開吐水して、排水音を確認してください。	 複数パターンの 正常・異常の動画例が あります。
3	通気弁・レシーバーからの音を確認し、異常があれば部品交換してください。 キッチントラップユニット(タイプ1)⇒通気弁アタッチメントユニット キッチントラップユニット(タイプ2)⇒エアレシーバー／通気弁セット ※単品交換でも復旧しない場合は、トラップユニット全体を交換してください。	 通気弁アタッチメントユニット エアレシーバー
4	(1) 復旧後はマーカで印を付け、封印シールを貼りつけてください。 (2) デスポーザ運転もしくは水栓を全開吐水してください。 (3) 排水状態(漏れ・音)を確認してください。	—
5	入居者様に日頃のお手入れ方法を説明し、完了報告をしてください。	—

2. 各種問い合わせの対応方法 (専門業者様向け説明事項)

(補) 2 - 8. チャンバー内の洗浄(食洗機排水不良関連)

海外製食洗機など大型の食洗機と合わせ、下に説明する部品に詰まりがある場合、手順に沿って対応してください。

順序	工程／作業手順	写真／使用工具など
1	食洗機庫内の詰まりを手で取れる範囲を除去します。	—
2	<p>写真中の部品(キッチンチャンバーセット)を取り外します。</p> <p>(1) 水受けトレイをキッチンチャンバー下部に置きます。</p> <p>(2) ア.～ウ.の順に固定を外し、詰まり有無を確認してください。</p> <p>※こぼれ出る水を雑巾などで受けながらゆっくり外し、少しずつ水を抜きます。</p> <p>また食洗機ホースを外す際にキッチン内にこぼれない様注意してください。</p> <p>※支持しているボルトは 3 つのナットで固定されているため、ナットを緩めた後、ボルトを緩め、チャンバーの固定を外します。</p>	
3	外した部品の上下手で押さえて、振り洗いを実施してください。	
4	<p>2.と反対の手順でセットしてください。</p> <p>その際、滑りパッキンやパッキンのセットする順番や向きに注意してください。</p>	

3. 確認・復旧・交換作業時の注意点 (専門業者様向け説明事項)**2. 項で各種対応方法を説明しましたが、本項では詳細を補足します。****3-1. トーラー作業****(1) 住戸内から押し出す方向の作業**

押し込めなくなった際は先端のコレットチャックを締め、後部のハンドルで全体をゆっくり回転させ異物をほぐします。

(2) 共用廊下のメーターボックス内清掃口から引き出す方向の作業

(1)と同じく回転させます。異物を捕捉した感触が得られたら、勢よくトーラーを手元に引いてください。



ハンドル

底面から見て、
時計回り(矢印方向)で
回す。**3-2. エアレシーバーの扱い****(1) 赤点線枠内のユニット内部の詰まりが確認できた場合**

→上下に振りながら、除去を促してください。

→当該ユニットの中には、ゴム製品が内包されている為、
異物除去のためのドライバーの挿入は禁止です。**(2) 除去しきれない場合は、新品と交換してください。****3-3. 音の確認方法(詳細)**

※「音」についての問い合わせの場合、以下リンク先の動画・音を参考に原因を判別

<https://pushweb-pm.ezone.bridgestone.co.jp/ecportal/UserCommon/ssvideo/sound.htm>

排水時のトラップの音 (動画は5リットル溜め水を流した時の音)	
	トラップのコロコロ音…正常音
	トラップのゴロゴロ音…異常音(通気弁が詰まっているなどしてゴロゴロという排水音)
ディスプレイ稼働時の異音	
	ペットボトルのキャップが混入した時の音
	プラスチック製スプーンが混入した時の音
	硬い骨の粉碎残り
食洗機からの異音	
	正常の稼働音
	異常状態が推測される音(逆止弁の作動不良時など)
	笛が吹いたような、もしくは金属が擦れあったような高音
	食洗機を引き出し稼働もさせていないものの、作動音を発するケース

3. 確認・復旧・交換作業時の注意点 (専門業者様向け説明事項)

3-4. 通気弁の確認



下からのぞきこむように確認すると
周囲に2ヶ所(180°)吸気口が
確認できます。



吸気口の下に汚れなどが確認されたら、確実に交換すること。

詰まり/排水不良などの確認・作業において、通気弁アタッチメントユニットの内部汚れなどを確認するケースで、入居者から、漏れ・臭い・音に関する問い合わせがなくとも、上写真の傾向がある場合は交換してください。

3-5. トルクレンチ

- (1) キッチントラップユニット(タイプ1)に設置される通気弁、通気弁アタッチメントユニットが対象です。
4N・m に設定した専用工具(トルクレンチ)を用いて締め付けます。
キッチントラップユニット(タイプ2)では使いません。

- (2) 分解・清掃後、若しくは新品を取り付けるときは
写真の向きになるよう、パッキンを組みます。

【向きに注意してください。(2 つとも同じ向き)】

- (3) 清掃後の復旧・新品の交換のどちらの場合とも
通気弁アタッチメントユニットを強めに上下に振り、
カタカタと音が鳴ることを確認してから取り付けてください。
(音が鳴らない時などは、新品に交換してください。)
- (4) ONLY⇒とある向きで工具を用い、締結します。
トルクレンチがカチッと音がするまで、若しくは滑るまで
締め付けてください。

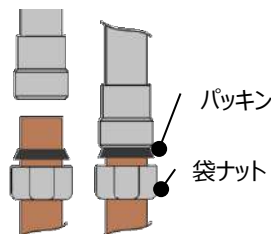


パッキン凸を下向き



3-6. 袋ナットの締め付け

- (1) パッキンの向きに注意してください。
- (2) 袋ナットは樹脂製プライヤーで締めてください。
また中間部分は手元で確実に締めてから
塩ビ立上げ管にセットしてください。



4. 復旧後確認 (専門業者様向け説明事項)

4-1. 投入口の確認

配管側の復旧作業を終えても回復をしない、もしくは短期間で詰まりが再発するなどの場合、ディスポーザ投入口のゴム部分がただれたように見えたり、庫内の詰りがひどい場合などがあります。

その場合は、投入口を確認し**写真撮影**をお願いします。

樹脂製ブラシによる庫内の汚れ除去が可能な場合は合わせて実施ください。

左：テラル社、右：安永クリーンテック社製



4-2. トラップ取り付け時のエルボの向き

トラップとディスポーザ排出部のエルボを取り付ける際、水平・直角に注意してください。

作業前よりねじれがひどくならないよう、お願いします。

生ごみの排出が円滑にならない可能性があります。



(注)トラップ取付角度は完全拘束ではないため
ねじれる可能性がある参考写真です。

4-3. ディスポーザへの給水ホースのキンク

復旧時にキンクに注意してください。

ディスポーザへの給水量が減り、生ごみ(厨芥物)の排出が円滑にならない可能性があります。



4-4. ディスポーザへの給水

キッチントラップユニットや配管側を正しく処置することとは別に、ディスポーザに供給される水量が明らかに低いなどのケースもあり得ます。この場合は**作業の依頼元などへ連絡**をお願いします。

4. 復旧後確認 (専門業者様向け説明事項)

4-5. 確認：キッチンラップユニット(タイプ 1)

- (1) ディスポーザを運転させ、漏水有無を確認する。
- (2) トラップ接続部の漏水、通気弁からの漏れが無いかを目視・触診で確認してください(矢印箇所)。

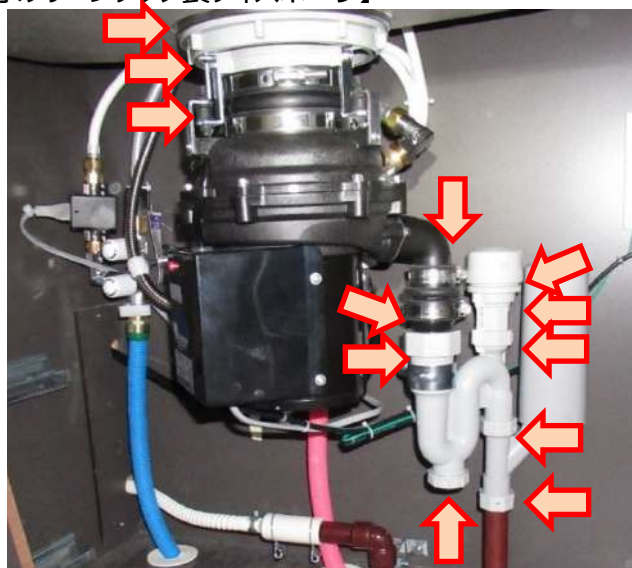
【テラル製ディスポーザ】



【触診の様子】



【安永クリーンテック製ディスポーザ】



- (3) 最終確認として、以下を行ってください。

- ・シンクから水を流し、正常に排水されているか。
(一時水位が上昇するが 10～20 秒以内に水位が下がる)。
- ・ディスポーザを運転し、通気弁から空気を吸いながら(コロコロ音)、高速排水される音を確認してください。
- ・メーターボックスの清掃口を開けた場合は、正しく閉じ、最後に封印シールなどで封印を示してください。
(タイプ 1)中子を入れ、上から円形の蓋をガタなく閉める。過度な締め付けは不要です。
(タイプ 2)工具を用いる際は、過度な締め付けはしないでください。また電動工具を使用する際は、打撃を加えず最弱設定としてください。継手破損の恐れがあります。



4. 復旧後確認 (専門業者様向け説明事項)

4-5. 確認：キッチントラップユニット(タイプ 2)

- (1) ディスポーザを運転させ、漏水有無を確認する。
- (2) トラップ接続部の漏水、通気弁からの漏れが無いかを**目視・触診**で確認してください(矢印箇所)。
※通水検査時、キッチントラップユニット上部が大きく揺れることもありますが、性能上問題ありません。



【触診の様子(イメージ)】



4-6. その他

必要に応じて入居者や現地の確認を行ってください。

(1) 入居者への確認

運転途中で止めたりすることが無いかな？

→途中で停止を繰り返し行くと、トラップや排水管での詰まりが助長されてしまいます。

(2) 上蓋・中蓋の向きを正しくセットしているか？

→テラル製ディスポーザの場合、粉碎モードではなく洗浄のみモードとなることがあります。

(3) ディスポーザへ給水系統のバルブが全開になっているか？

→誤ってディスポーザ系統のバルブを閉めていないか？

(4) ディスポーザ運転時、水栓からの給水やシンクに水を溜めての運転は避けることを必要に応じて確認ください。

→通気弁からの漏水の原因となり得ます。



【参考写真】
ディスポーザ
系統のバルブ

5. 高圧洗浄

スマートサイホンシステムにおける高圧洗浄は使用工具、洗浄方法等が住戸毎に異なるので注意してください。

5-1. 住戸別仕様

	適用住戸仕様	定義	適用条件	洗浄方法
①	基準階	基準階定義： 共用部立て管に 下階で接続する 仕様	水平管落とし込み前 に清掃口が設置され ている配管	住戸毎メーターボックス内の清掃口からの洗浄
②	最下階 -住戸内	最下階定義： ピット内で横枝管・ 横主管に接続する 仕様	下階に清掃口が設 置されている配管仕 様	キッチンシンク下のトラップにある通気弁アタッチメント部からの洗浄
③	最下階 -地下ピット			地下ピットなど下階に設置されている清掃口からの洗浄 ※地下ピット内での作業の場合、開口部からの転落防止策、監視員の配置などを怠らないよう、予め作業計画に組み入れる必要があるため選定時には注意してください。

※最下階仕様②、③は作業計画を鑑みて選択してください。

5-2. 設定圧力

サイホンシステムでは洗浄ホース手元の圧力開閉バルブに圧力ゲージを接続し、圧力調整を行う。

洗浄ホース手元での基本設定圧力：5MPa

※各住戸の洗浄毎で、5MPa になるよう圧力調整をしつつバルブを開きます。

洗浄中の圧力変動の適用範囲は 3.8～7MPa とします。

適用範囲に入らない場合は、高圧洗浄車の元圧を上げる、もしくは、下げるなど調整してください。



※バルブを開けると、全開から 5MPa に落とすことはしないようご注意ください。封水を引っ張ってしまう恐れがあります。




5. 高圧洗浄

5-3. 準備部材

高圧洗浄を実施するに当たり、以下の資機材を準備します。

1. 高圧洗浄ホース・洗浄ノズル

高圧洗浄ホース、洗浄ノズルは下記仕様を準備します。

	ホース仕様	ホース長さ	ノズル先端仕様	使用箇所
①	メーカー：シンショー 品番：KKF-3 	20m程度	メーカー：シンショー 品番：HR-BN345-N (後方噴射ローター) 	・基準階仕様-水平管 ・最下階-地下ピット仕様
②			メーカー：シンショー 品番：特 TP-Y3F4 (前方噴射ローターレス) 	・基準階仕様-垂直管 ・最下階-住戸内仕様

※上記仕様以外のホース、ノズル以外は使用しないよう注意してください。

※配管内を傷付けることが無いよう、鋭利な損傷等があるノズルやホースは使用しないでください。

※適用住戸として最下階-地下ピット仕様ではノズル取り出しの際、必要に応じて治具を使用します。

※洗浄ホースにはサイホン排水管への挿入長さが判るよう1 m毎など、ホースに油性マジック等でマーキングすることを推奨します。

2. 基準階 溢れ防止治具

(1) 清掃口（タイプ1）用溢れ防止治具

洗浄水の飛散防止用途。基準階仕様の丸型清掃口に取り付けます。



清掃口（タイプ1）用溢れ防止治具

(2) 清掃口（タイプ2）用溢れ防止治具

洗浄水の飛散防止用途。基準階仕様のサイホン継手に取り付けます。



清掃口（タイプ2）用溢れ防止治具

3. 清掃口（タイプ1）開閉治具

清掃口（タイプ1）の蓋を開ける際、硬いときに使用してください。

ドライバーなどで十字に合わせてテコの原理で回して蓋を開けます。



清掃口（タイプ1）開閉治具

4. 最下階-住戸内 引き抜け予防治具

(1) キッチントラップユニット（タイプ1）対応

最下階-住戸内においてキッチン下にて前方噴射によるトラップから洗浄ホースが引き抜けないように対策・予防します。



キッチントラップユニット（タイプ1）対応
引き抜け予防治具

5. 高圧洗浄

5-3. 準備部材

4. 最下階-住戸内 引き抜け予防治具

(2) キッチントラップユニット (タイプ 2) 対応

最下階-住戸内においてキッチン下にて前方噴射によるトラップから
洗浄ホースが引き抜けないように対策・予防します。



キッチントラップユニット (タイプ 2) 対応
引き抜け予防治具

5. 通気弁アタッチメント 取り付け治具

キッチントラップユニット (タイプ 1) 対応

通気弁アタッチメントを取り付ける際、指定のトルクレンチで締め付けます。
締め付けトルク：4 N・m



トルクレンチ

6. 樹脂製プライヤー (挟み口が樹脂製のもの)

最下階-住戸内にて通気弁アタッチメントを外すときに使用します。
アタッチメント部に傷を付けないように樹脂製を使用します。



樹脂製プライヤー

7. 最下階-地下ピット用洗浄ノズル挿入治具

最下階-地下ピット仕様の掃除口から洗浄ノズル挿入するときに使用します。

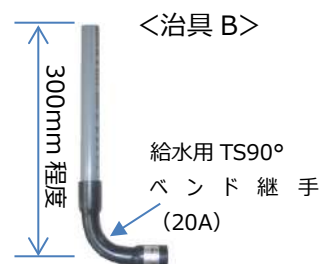
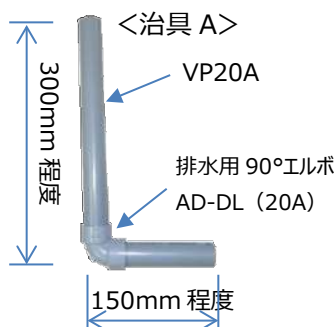


洗浄ノズル挿入治具

8. 最下階-地下ピット用ノズル取り出し用治具

最下階-地下ピット仕様の掃除口から
洗浄ノズルを取り出すのが困難なときに
使用します。

治具 A, 治具 B いずれかを準備します。
(市販部材にて準備可能です。)



9. ウェス類

洗浄水の飛散防止用途として、ウェス類を準備します。

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-1. 基準階の配管洗浄

各住戸のメーターボックス内に設置されている、専用の掃除口より洗浄します。

掃除口は2通り(※2-2. 参照)ありますので設置されている形状を確認の上、各々の作業手順を参照ください。

洗浄順については、先に垂直管を洗浄し、排水経路を確保した上で水平管を洗浄します。

5-4-1-1-(1). 垂直管の洗浄：メーターボックス内の掃除口が清掃口(タイプ1)の場合

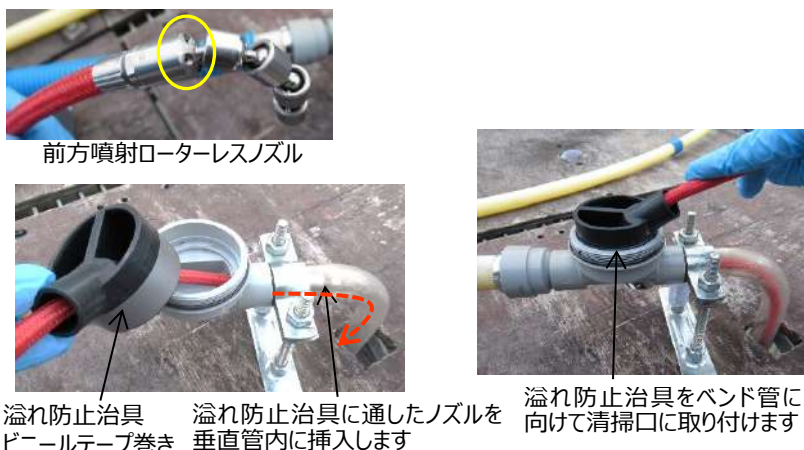
1. 清掃口(タイプ1)の蓋の取り外し

・清掃口の「ゴムカバー」と「清掃口蓋」を取り外し、その中にある「中子」も取り外します。
 ※取り外した蓋、中子は汚れを落とし、異物が付着しないよう、仮置き時に注意してください。



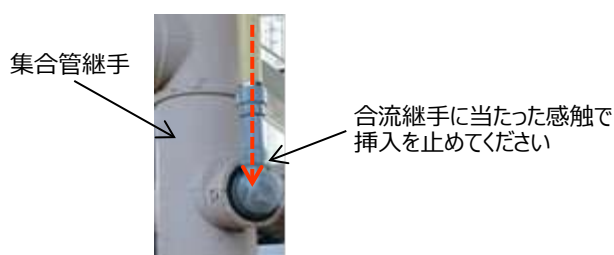
2. 洗浄ノズル取り付け、洗浄ホースの挿入、溢れ防止治具の取り付け

・垂直管の洗浄ノズルは**指定の前方噴射ローターレスノズル**を使用します。
 ・先に溢れ防止治具に洗浄ホースを通し、ノズル先端を清掃口より、垂直管に挿入します。
 ・その後、溢れ防止治具を清掃口に取り付けます。治具のはめ込みが緩いときはビニールテープを巻き付け調整してください。
 ・挿入口の向きを右写真の方向にし、ホースを曲げた状態にすることで、前方噴射の圧力によるホースの引き抜けを防止します。



3. 洗浄ノズルの挿入

・垂直管洗浄においては、**水圧を掛けずに標準仕様であれば2.5m下の合流継手に当たるまで洗浄ノズルを挿入します。**
 ・挿入し合流継手に「コツ」と、当たったら止め、無理に押し込まないよう注意してください。



4. 洗浄開始

・手元のバルブにて徐々に開閉バルブを開け、**手元の圧力ゲージで5MPaに設定します。**
 ※5-2.の通り、洗浄中の圧力変動の適用範囲は**3.8~7MPa**とします。





5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-1. 基準階の配管洗浄

5-4-1-1-(1). 垂直管の洗浄：メーターボックス内の掃除口が清掃口（タイプ1）の場合

<p>5. 垂直管の洗浄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄ホースを引き上げながら垂直管を洗浄します。 ・洗浄時はウエスを用意し、溢れ防止治具をウエスで押さえて排水の溢れを防止します。 <p>※溢れ防止治具の押さえが緩いと洗浄ホースが前方噴射の圧力で引き抜けてしまいますのでご注意ください。</p>	 <p>溢れ防止治具をウエスで押さえて溢れを防止します</p> <p>ホースを引き上げます</p>
<p>6. 垂直管の洗浄完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃口付近まで洗浄 <p>ノズルを引き上げ終わったら水圧を止めて、洗浄を完了します。</p> <p>※清掃口付近まで引き上げたとき、溢れ防止治具に対しバンド側へ水平(横方向)に洗浄ホースを引っ張ると、清掃口に洗浄ノズルが引っ掛かるため、引き抜けを防止できます。</p>	 <p>バンド側へ水平に引っ張ることで洗浄ノズルが引っ掛かり、引き抜け防止となります</p> <p>溢れ防止治具は水圧を止めるまで手でしっかりと押さえてください</p>

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-1. 基準階の配管洗浄

5-4-1-1-(2). 水平管の洗浄：メーターボックス内の掃除口が清掃口（タイプ1）の場合

<p>1. ホース挿入長さの確認。</p> <p>・清掃口蓋裏部に記載されている水平管長より、洗浄ホース挿入長さを確認します。 ※記載長さは水平管長のおおよその長さです。 トラップまで概ね+50cmを見込んでください。</p>	 <p>・清掃口の蓋裏の水平管長を確認します。 ・トラップ頂点までは概ね+50cmを見込んでください。 ※施工時の微調整余長も鑑みて、記載された水平管長より1m程度の誤差がある場合もあります。</p>
<p>2. 洗浄ホースの挿入、ガイド管の取り付け</p> <p>・水平管の洗浄ノズルは指定の後方噴射ローターを使用します。 ・先に溢れ防止治具に洗浄ホースを通し、ノズル先端を清掃口より、水平管に挿入します。 ・その後、溢れ防止治具を清掃口に取り付け、ウェスで溢れ防止治具を押さえます。</p>	<p>溢れ防止治具に通したノズルを水平管内に挿入します</p>   <p>溢れ防止治具を清掃口に取り付けます</p>
<p>3. 洗浄の開始</p> <p>・手元のバルブにて徐々に開閉バルブを開け、手元の圧力ゲージで 5MPa に設定します。 ※5-2.の通り、洗浄中の圧力変動の適用範囲は3.8~7MPaとします。</p>	 <p>手元の開閉バルブで 5MPa に設定します</p> <p>徐々にバルブを開けます</p> <p>※バルブを開けると、全開から 5MPa に落とすことはしないようご注意ください。封水を引っ張ってしまう恐れがあります。</p>
<p>4. キッチンシンク下バンド部での洗浄ノズル位置の確認</p> <p>・洗浄ホースを挿入後、キッチンシンク下のバンド部に到達し、立ち上がりには差し掛かると洗浄ホースの挿入に重さを感じます。 ・この重さでキッチンシンク下のトラップ下部に到達したことを確認します。</p>	 <p>・バンド部に到達したことを感触で確認します。 ・もし、感触が分からなかったときは、一旦、水圧を止めてゆっくり 50cm 程度引いて、ホースが引っ掛かればバンドを通過し、トラップまで到達していたことが確認できます。</p>
<p>5. 水平管の洗浄完了</p> <p>・キッチンシンク下のバンド部到達から更に押し上げトラップ上部まで到達し、「カチッ」と少し硬い感触が感じられたら水圧を止めて洗浄完了となります。 ・それ以上は無理に押し込まないでください。 ※バンド部を押し上げ辛いときは少し圧力を上げると上がり易くなります。(6~7MPa まで) ※トラップ上部までの到達確認としては、水圧を停止後、ゆっくりとホースを引いたときにバンド部で引っ掛かればトラップまで到達していたことになります。</p>	<p>トラップは 2 種類ありますが、どちらも作業方法は同じです。</p>  <p>・洗浄ノズルがトラップ上部に到達したことを感触で確認します ・到達したら水圧を止めます ・水圧を止めた後ゆっくりホースを引いて、バンドに引っ掛かることを確認します。 ・確認後、もう一度軽く水圧を掛けてトラップ上部へ戻します。</p>

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-1. 基準階の配管洗浄

5-4-1-1-(2). 水平管の洗浄：メーターボックス内の掃除口が清掃口（タイプ1）の場合

6. ホース引き抜き

- ・洗浄後、水圧を止めてホースを引き抜きます。
- ※ノズル先端がバンド部を通過する際、ゆっくり引くとバンド部に引っ掛かります。
- その場合は一旦ノズルをトラップ上部へ押し上げ、再度引っ張ることでホースは引き抜けます。
- ※バンド部を押し上げ辛いときは少し圧力を上げると上がりやすくなります。(6~7MPa まで)
- 【引き抜きポイント】
- ・引くときは **50cm 程度をためらわずに勢いよく引き抜いてください**
- ・30cm 程度をゆっくり引くとバンド付近に留まってしまい引っ掛かります



キッチンシンク下の点検口

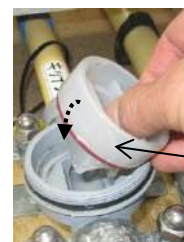


キッチンシンク下バンドで引っ掛かりますが、左記の【引き抜きポイント】の通りご対応いただければ引き抜けます。

7. 作業完了、封水対策

- ・清掃口本体及び中子部のＯリングに異物等の付着物がないかを確認し、中子を収納します。
- ・その後、清掃口の蓋をしっかりと閉めます。
- ・万が一に備えて全ての作業が終わったら、キッチン水栓を開きしばらく水を流して封水損失の対策とトラップ周辺からの漏水確認をしてください。
- ・清掃口に漏れが無いかを確認して、封印シールを貼り付けます。
- ・最後にゴムカバーを被せます。

①忘れずに中子を収納します。



中子部
収納

②清掃口の蓋を閉めます。



清掃口蓋部
取付け

③封印シールを貼り付けます。



封印シール
貼付け

④ゴムカバーを被せます。



ゴムカバー
復旧

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-1. 基準階の配管洗浄

5-4-1-2-(1). 垂直管の洗浄：メーターボックス内の掃除口が清掃口（タイプ2）の場合

1. 清掃口（タイプ2）の蓋の取り外し

・蓋周囲にある3ヶ所のボルトを緩めて外します。
※取り外した蓋は汚れを落とし、異物が付着しないよう、仮置き時に注意してください。



・3箇所のボルトを緩めて外します。



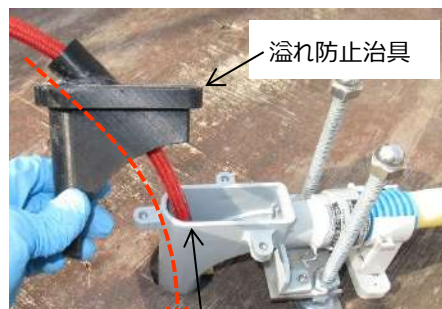
※ネジ切り等防止のため、インパクトドライバーはハンディタイプとし高出力の機械は使用しないようご注意ください。

2. 洗浄ノズル取り付け、洗浄ホースの挿入、溢れ防止治具の取り付け

・垂直管の洗浄ノズルは**指定の前方噴射ローターレスノズル**を使用します。
・先に溢れ防止治具に洗浄ホースを通し、ノズル先端を清掃口より、垂直管に挿入します。
・その後、溢れ防止治具をサイホン継手に取り付けます。
・溢れ防止治具を使用し、ホースを曲げた状態にすることで、前方噴射の圧力によるホースの引き抜けを防止します。



前方噴射ローターレスノズル



溢れ防止治具

水圧を掛けずに溢れ防止治具に通したノズルを垂直管内に挿入します



溢れ防止治具を清掃口に
取り付けます

3. 洗浄ノズルの挿入

・垂直管洗浄においては、**水圧を掛けずに標準仕様であれば2.5m下の合流継手に当たるまで洗浄ノズルを挿入します。**
・挿入し合流継手に「コツ」と、当たったら止め、無理に押し込まないよう注意してください。

集合管継手



合流継手に当たった感触で挿入を止めてください




「台所」の垂直管長を確認します

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-1. 基準階の配管洗浄

5-4-1-2-(1). 垂直管の洗浄：メーターボックス内の掃除口が清掃口（タイプ2）の場合

<p>4. 洗浄開始</p> <p>・手元のバルブにて徐々に開閉バルブを開け、手元の圧力ゲージで 5MPa に設定します。</p> <p>※5-2.の通り、洗浄中の圧力変動の適用範囲は 3.8~7MPa とします。</p>	 <p>徐々にバルブを開けます</p> <p>手元の開閉バルブで5MPaに設定します</p> <p>※バルブを開けると、全開から5MPaに落とすことはしないようご注意ください。封水を引っ張ってしまう恐れがあります。</p>
<p>5. 垂直管の洗浄</p> <p>・洗浄ホースを引き上げながら垂直管を洗浄します。</p> <p>・洗浄時はウエスを用意し、溢れ防止治具をウエスで押さえて排水の溢れを防止します。</p> <p>※溢れ防止治具の押さえが緩いと洗浄ホースが前方噴射の圧力で引き抜けてしまいますのでご注意ください。</p>	 <p>溢れ防止治具をウエスで押さえて溢れを防止します</p> <p>ホースを引き上げます</p>
<p>6. 垂直管の洗浄完了</p> <p>・清掃口付近まで洗浄します。</p> <p>ノズルを引き上げ終えたら水圧を止めて、洗浄を完了します。</p> <p>※清掃口付近まで引き上げたとき、溢れ防止治具に対しバンド側へ水平(横方向)に洗浄ホースを引っ張ると、清掃口に洗浄ノズルが引っ掛かるため、引き抜けを防止できます。</p>	 <p>バンド側へ水平に引っ張ることで洗浄ノズルが引っ掛かり、引き抜け防止となります</p> <p>溢れ防止治具は水圧を止めるまで手でしっかりと押さえてください</p>

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-1. 基準階の配管洗浄

5-4-1-2-(2). 水平管の洗浄：メーターボックス内の掃除口が清掃口（タイプ2）の場合

<p>1. ホース挿入長さの確認。</p> <p>・清掃口に記載されている水平管長より、洗浄ホース挿入長を確認します。 ※記載長さは水平管長のおおよその長さです。トラップまで概ね+50cmを見込んでください。</p>	 <p>・「台所」の水平管長を確認します。 ・トラップ頂点までは概ね+50cmを見込んでください。 ※施工時の微調整余長も鑑みて、記載された水平管長より1m程度の誤差がある場合もあります。</p>
<p>2. 洗浄ホースの挿入、溢れ防止治具の取り付け</p> <p>・水平管の洗浄ノズルは指定の後方噴射ローターを使用します。 ・先に溢れ防止治具に洗浄ホースを通し、ノズル先端を清掃口より水平管に挿入します。 ・その後、溢れ防止治具を清掃口に取り付け、ウェスで溢れ防止治具を押さえます。</p>	 <p>← 後方噴射ローターノズル 溢れ防止治具に通したノズルを水平管内に挿入します</p>  <p>溢れ防止治具を清掃口に取り付けます</p>
<p>3. 洗浄の開始</p> <p>・手元のバルブにて徐々に開閉バルブを開け、手元の圧力ゲージで 5MPa に設定します。 ※5-2.の通り、洗浄中の圧力変動の適用範囲は3.8~7MPaとします。</p>	 <p>徐々にバルブを開けます</p> <p>手元の開閉バルブで5MPaに設定します</p> <p>※バルブを開けると、全開から5MPaに落とすことはしないようご注意ください。封水を引っ張ってしまう恐れがあります。</p>
<p>4. キッチンシンク下バンド部での洗浄ノズル位置の確認</p> <p>・洗浄ホースを挿入後、キッチンシンク下のバンド部に到達し、立ち上がりに差し掛かると洗浄ホースの挿入に重さを感じます。 ・この重さでキッチンシンク下のトラップ下部に到達したことを確認します。</p>	 <p>・バンド部に到達したことを感触で確認します。 ・もし、感触が分からなかったときは、一旦、水圧を止めてゆっくり50cm程度引いて、ホースが引っ掛かればバンドを通過し、トラップまで到達していたことが確認できます。</p>
<p>5. 水平管の洗浄完了</p> <p>・キッチンシンク下のバンド部到達から更に押し上げトラップ上部まで到達し、「カチッ」と少し硬い感触が感じられたら水圧を止めて洗浄完了となります。 ・それ以上は無理に押し込まないでください。 ※バンド部を押し上げ辛いときは少し圧力を上げると上がり易くなります。(6~7MPaまで) ※トラップ上部までの到達確認としては、水圧を停止後、ゆっくりとホースを引いたときにバンド部で引っ掛かればトラップまで到達していたことになります。</p>	<p>トラップは2種類ありますが、どちらも作業方法は同じです。</p>  <p>・洗浄ノズルがトラップ上部に到達したことを感触で確認します ・到達したら水圧を止めます ・水圧を止めた後ゆっくりホースを引いて、バンドに引っ掛かることを確認します。 ・確認後、もう一度軽く水圧を掛けてトラップ上部へ戻します。</p> 

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-1. 基準階の配管洗浄

5-4-1-2-(2). 水平管の洗浄：メーターボックス内の掃除口が清掃口（タイプ2）の場合

6. ホース引き抜き

・洗浄後、水圧を止めてホースを引き抜きます。
※ノズル先端がバンド部を通過する際、ゆっくり引くとバンド部に引っ掛かります。

その場合は一旦ノズルをトラップ上部へ押し上げ、再度引っ張ることでホースは引き抜けます。

※バンド部を押し上げ辛いときは少し圧力を上げると上がりやすくなります。(6~7MPa まで)

【引き抜きポイント】

・引くときは **50cm 程度をためらわずに勢いよく引き抜いてください**

・30cm 程度をゆっくり引くとバンド付近に留まってしまい引っ掛かります



キッチンシンク下の点検口



キッチンシンク下バンドで引っ掛かりますが、左記の【引き抜きポイント】の通りご対応いただければ引き抜けます。

7. 作業完了、封水対策

・清掃口の蓋に異物等の付着がないか確認し、その後、蓋のボルトを締め付けます。

・万が一に備えて全ての作業が終わったら、キッチン水栓を開きしばらく水を流して封水損失の対策とトラップ周辺からの漏水確認をしてください。

・最後に清掃口に漏れが無いかを確認して、封印シールを貼り付けます。



3箇所のボルトを締め付けます。



※ネジ切り等防止のため、インパクトドライバーはハンディタイプとし高出力の機械は使用しないようご注意ください。

封印シール貼り付け例（左右どちらかに貼り付けてください）



5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-2. 最下階-住戸内からの配管洗浄

最下階-住戸内仕様ではキッチンシンク下のトラップ部より洗浄します。

トラップは2種類ありますので、以下の手順に応じて洗浄します。

5-4-2-1. キッチントラップユニット (タイプ1) の場合

1. 通気弁アタッチメント取り外し

- ・通気弁アタッチメントを握り、トラップから外します。
- ・アタッチメントが硬く回らない場合は、樹脂製プライヤーを使用して外してください。

※通気弁本体を握らないでください。

通気弁本体が通気弁アタッチメントから外れることがありますのでご注意ください。

通気弁部が緩んでしまった場合はトルクレンチにて通気弁とアタッチメントを締め直してください。

- ・続いて、パッキンを外します。

※住戸内から洗浄実施の場合、水平管長さが表示されていないこともあります。事前に管理会社様を通じて確認してください。



キッチンシンク下を開けて左写真のタイプのトラップの場合左記の要領で作業してください。

キッチントラップユニット (タイプ1)



通気弁

アタッチメント部を握り外してください



通気弁アタッチメントパッキンを外します

2. 前方噴射ローターレスノズルの洗浄ホース取り付け

- ・洗浄ノズルは前方噴射ローターレスを使用します。

・前方噴射のため洗浄ホースの引き抜け予防治具を使用します。

手順 1) 洗浄ホースを穴開きキャップに通します。

手順 2) 次に、通気弁パッキンの向きに注意して洗浄ホースを通します。

※このとき、通気弁パッキンは高圧洗浄専用品を別に用意します。

手順 3) 前方噴射ローターレスノズルを取り付けます。

前方噴射ノズルを使用します。



手順 1)

引き抜け予防治具
穴開きキャップ



手順 2)

引き抜け予防治具
通気弁パッキン
※マーカなどで色分けして、取り外したパッキンと間違えないようにしてください。



手順 3)

前方噴射ローターレスノズル



ゴムパッキンの凸の向きに注意してください

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-2. 最下階-住戸内からの配管洗浄

5-4-2-1. キッチントラップユニット(タイプ1)の場合

3. トラップへの洗浄ホース挿入	
<p>・洗浄ホースを少し挿入し、右手順にてホースの引き抜け予防治具を締め付け固定します。</p> <p>※この状態では水圧は掛けないでください。</p> <p>・引き抜け予防治具の固定後、洗浄ホースを挿入し水平管から垂直管に落とし込むバンド管で一旦ホースに重みを感じます。</p> <p>その重みを感じたらさらに垂直管へ押し込みます。</p> <p>・その後、1m前後で合流継手に到達しますので押し込みを終了します。</p>	<p>手順 1) 洗浄ホースを少し挿入して通気弁パッキン取り付けます</p>  <p>手順 2) 穴開きキャップを締め付けます</p>  <p>手順 3) 洗浄ホースを挿入します</p> 
4. 合流継手への洗浄ホース挿入	
<p>・スラブ下の合流継手まで水圧を掛けずに挿入します。</p> <p>・合流継手に到達すると硬い感触が得られるのでそこで押し込むのを止めてください。</p> <p>※押し込めなくなったら、それ以上は無理に押さないでください。</p>	 <p>スラブ下の合流継手 挿入はここで止めます</p>

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-2. 最下階-住戸内からの配管洗浄

5-4-2-1. キッチントラップユニット(タイプ1)の場合

<p>5. 洗浄の開始前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄ホース挿入口はウエス等で排水の溢れ防止をしてください。 ・前方噴射ノズルのため、推進力の反力により洗浄ホースがトラップより抜け出さないよう、しっかり押さえてください。 	 <p>ウエスで溢れ防止を行い ホースはしっかり押さえてください</p>
<p>6. 洗浄開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手元のバルブにて徐々に開閉バルブを開け、手元の圧力ゲージで 5MPa に設定します。 ※5-2.の通り、洗浄中の圧力変動の適用範囲は 3.8~7MPa とします。 ・圧力設定完了後、洗浄ホースを引き抜きながら洗浄を開始します。 	 <p>徐々にバルブを開けてください</p> <p>手元の開閉バルブで 5MPa に設定します</p> <p>※バルブを開けると、全開から 5MPa に落とすことはしないようご注意ください。封水を引っ張ってしまう恐れがあります。</p>
<p>7. 洗浄完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄ノズルがトラップ近傍まで来ると排水音が変わります。 音が変わったら引くスピードを緩め無理せず水圧を止めて作業を終えます。 ※洗浄ノズルは上方へは引かないでください。 水平方向に引くことで洗浄ノズルがトラップ上部に引っ掛かるため飛び出し防止になります。 	 <p>横方向に引き抜くことでノズルが引き抜け予防治具に引っかかり、飛び出しを防止になります</p> <p>この近辺で排水音が変わります 洗浄を完了し、水圧を止めてください</p>
<p>8. 通気弁アタッチメントの復旧、作業完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パッキンの向きに注意してトラップに設置します。 ※パッキンの凸部が下向きになります。 ・通気弁アタッチメントのアタッチメント部分を握り、軽く手締めします。 ・軽く手締めを終えたら専用のトルクレンチで矢印方向に 4N・m で締め付けて作業を完了します。 ※通気弁アタッチメント取り付けは 3-2. を参照してください。 ・万が一に備えて全ての作業が終わったら、キッチン水栓を開き少し水を流して封水損失の対策をします。 ・最後にキッチン下トラップ周辺に漏れが無いかを確認し、封印シールを貼付けます。 	 <p>パッキンの向きに注意してください 凸部が下向きになります</p>  <p>専用トルクレンチで締め付けます</p>  <p>最後に封印シールを貼付けます</p>

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-2. 最下階-住戸内からの配管洗浄

5-4-2-2. キッチントラップユニット (タイプ 2) の場合

<p>1. エアレシーバーの取り外し</p> <p>・エアレシーバー下部の袋ナットを緩めて外します。 ※エアレシーバー上部に通気弁が付属していますが、エアレシーバーごと外してください。</p> <p>・トラップ内の白色の滑りパッキンとゴム製の整流板を外してください。</p>	 <p>この袋ナットを緩めて外します。</p> <p>エアレシーバーを外した状態です。</p> <p>整流板</p> <p>滑りパッキン</p> <p>キッチントラップユニット (タイプ 2)</p>
<p>2. 前方噴射ローターレスノズルの洗浄ホース取り付け</p> <p>・洗浄ノズルは前方噴射ローターレスを使用します。 ※前方噴射のため洗浄ホースの引き抜け予防治具を使用します。</p> <p>・洗浄ホースを引き抜け予防治具に通します。</p> <p>・次に、トラップに引き抜け予防治具を挿入し、袋ナットを締め付け固定します。</p>	<p>手順 1) 前方噴射ローターレスノズルをホースに接続します。</p>  <p>前方噴射ノズルを使用します。</p> <p>手順 2) 洗浄ホースを引き抜け予防治具に通します。</p>  <p>引き抜け予防治具に洗浄ホースを通します。</p>

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-2. 最下階-住戸内からの配管洗浄

5-4-2-2. キッチントラップユニット(タイプ2)の場合

3. トラップへの洗浄ホース挿入

・次に、トラップに引き抜け予防治具を挿入し、袋ナットを締め付け固定します。

※この状態では水圧は掛けないでください。

・挿入し水平管から垂直管に落とし込むバンド管で一旦ホースに重みを感じます。

その重みを感じたらさらに垂直管へ押し込みます。

・その後、1m前後で合流継手に到達しますので押し込みを終了します。

手順 1) トラップに引き抜け予防治具を挿入し、袋ナットを締め付け固定します。



トラップに引き抜け予防治具を挿入します

手順 2) 袋ナットを締め付け、固定します。



袋ナットが緩まないように締め付けます

手順 3) 洗浄ホースを挿入します。



重さを感じながらホースを押し込みます
未だ水圧を掛けません

4. 合流継手への洗浄ホース挿入

・スラブ下の合流継手まで水圧を掛けずに挿入します。

・合流継手に到達すると硬い感触が得られるのでそこで押し込むのを止めてください。

※押し込めなくなったら、それ以上は無理に押さないでください。



スラブ下の合流継手
挿入はここで止めます

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-2. 最下階-住戸内からの配管洗浄

5-4-2-2. キッチントラップユニット (タイプ2) の場合

5. 洗浄の開始前準備	
<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄ホース挿入口はウエス等で排水の溢れ防止をしてください。 ・前方噴射ノズルのため、推進力の反力により洗浄ホースがトラップより抜け出さないよう、しっかり押さえてください。 	 <p>ウエスで溢れ防止を行い ホースはしっかり押さえてください</p>
6. 洗浄開始	
<ul style="list-style-type: none"> ・手元のバルブにて徐々に開閉バルブを開け、手元の圧力ゲージで 5MPa に設定します。 ※5-2.の通り、洗浄中の圧力変動の適用範囲は 3.8~7MPa とします。 ・圧力設定完了後、洗浄ホースを引き抜きながら洗浄を開始します。 	 <p>徐々にバルブを開けてください</p> <p>手元の開閉バルブで 5MPa に設定します</p> <p>※バルブを開けると、全開から 5MPa に落とすことはしないようご注意ください。封水を引っ張ってしまう恐れがあります。</p>
7. 洗浄完了	
<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄ノズルが引き抜け予防治具付近まで来るとカタカタとしたスズラン部の音と振動で分かります。 ・そこで、水圧を止めて作業を終わめます。 ※洗浄ノズルは上方へは引かないでください。 水平方向に引くことで洗浄ノズルが引き抜け予防治具に引っ掛かるため飛び出し防止になります。 	<p>ホースが抜けないようにしっかりと上から押さえてください</p>  <p>横方向に引き抜くことでノズルがトラップ上部に引っ掛かり飛び出しを防止になります</p>
8. エアレシーバーの復旧、作業完了	
<ul style="list-style-type: none"> ・整流板の向きに注意してトラップに挿入します。 ※整流板平滑面に注意して挿入してください。 ・次に、白色の滑りパッキンを挿入します。 ※滑りパッキンを折り曲げないようにご注意ください。 ・エアレシーバーを挿入し、袋ナットを締め付け固定します。 ・万が一に備えて全ての作業が終わったら、キッチン水栓を開き少し水を流して封水損失の対策をします。 ・最後にキッチン下トラップ周辺に漏れが無いかを確認します。 	   <p>平滑面が合うように挿入してください</p> <p>袋ナットを締め付けます</p>   <p>滑りパッキンを忘れずに挿入してください</p>  <p>復旧が完了したら水栓吐水して、封水対策、漏水確認をします</p>

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-3. 最下階-地下ピットからの配管洗浄

最下階-地下ピット仕様の洗浄については、**地下ピット内の配管に配置されている専用の掃除口より洗浄します。**

1. 掃除口蓋の取り外し、ホース挿入長さの確認

- ・掃除口蓋を取り外します。
- ※取り外した蓋は、パッキンに異物がつからないよう、仮置きしてください。
- ・掃除口蓋部に記載されている、ホース挿入長さを確認します。
- ※記載されている長さはおおよその長さです。



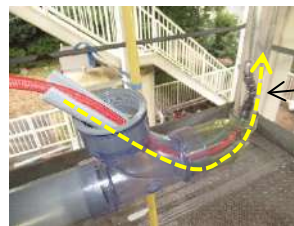
2. 洗浄ホースの挿入

・**洗浄ノズルは後方噴射ローターを使用します。**

(1) 洗浄ノズル挿入治具による挿入方法

- ①掃除口からキッチン側に向けて洗浄ノズル挿入治具を挿入します。
- ②挿入治具に沿って洗浄ノズルを挿入し、垂直管へ押し上げます。
- ③垂直管へ押し上げたら挿入治具を抜き取りま

①洗浄ノズル挿入治具を挿入します



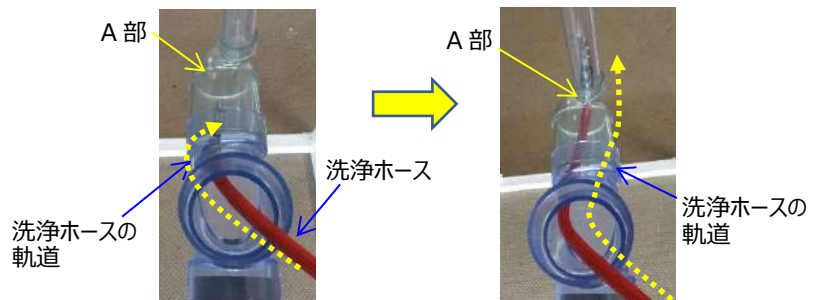
②垂直管へ押し上げます



③挿入治具を抜き取りま

(2) 洗浄ノズル挿入治具が無い場合の挿入方法

- ・洗浄ノズル挿入治具が無くとも洗浄ノズルを挿入することはできます。
- ・洗浄ホースを掃除口より挿入します。
- ・挿入の際、右図に示すような軌道でホースを挿入します。
- ・掃除口から見て、右斜めの位置から挿入し、A部にノズル先端を押し当てるように挿入します。
- ※ノズル先端を何度か前後させることで、サイホン配管内にノズルが誘導されて入ります。



5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-3. 最下階-地下ピットからの配管洗浄

<p>3. 洗浄の開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手元のバルブにて徐々に開閉バルブを開け、手元の圧力ゲージで 5MPa に設定します。 ※5-2.の通り、洗浄中の圧力変動の適用範囲は 3.8～7MPa とします。 ・洗浄ホースを挿入しながら洗浄を開始します。 	 <p>徐々にバルブを開けてください</p> <p>手元の開閉バルブで 5MPa に設定します</p> <p>※バルブを開けると、全開から 5MPa に落とすことはしないようご注意ください。封水を引っ張ってしまう恐れがあります。</p>
<p>4. キッチンシンク下バンド部での洗浄ノズル位置の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄ホースを挿入し、キッチンシンク下のバンド部に到達し、立ち上がりに差し掛かると洗浄ホースの挿入に重さを感じます。 ・この重さでキッチンシンク下のトラップ下部に到達したことを確認します。 	 <ul style="list-style-type: none"> ・バンド部に到達したことを感触で確認します。 ・もし、感触が分からなかったときは、一旦、水圧を止めてゆっくり 50cm 程度引いて、ホースが引っ掛かればバンドを通過し、トラップまで到達していたことが確認できます。
<p>5. 水平管の洗浄完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッチンシンク下のバンド部到達から更に押し上げ トラップ上部まで到達し、「カチッ」と硬い感触が感じられたら水圧を止めて洗浄完了です。 ・それ以上は無理に押し込まないでください。 	 <p>キッチントラップユニット (タイプ 1)</p> <p>キッチントラップユニット (タイプ 2)</p> <p>洗浄ノズルがトラップ上部に到達したことを感触で確認できます 到達したら水圧を止めてください</p>
<p>6. 洗浄ホース引き抜き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄後、水圧を止めてホースを引き抜きます。 ※ノズル先端がバンド部を通過する際、ゆっくり引くとバンド部に引っ掛かります。 その場合は一旦ノズルをトラップ上部へ押し上げ、再度引っ張ることでホースは引き抜けます。 ※バンド部を押し上げ辛いときは少し圧力を上げると上がり易くなります。(6～7MPa まで) 【引き抜きポイント】 ・引くときは 50cm 程度をためらわずに勢いよく引き抜いてください ・30cm 程度をゆっくり引くとバンド付近に留まってしまい引っ掛かります。 	<p>キッチンシンク下の点検口</p>   <p>キッチンシンク下バンドで引っ掛かる場合もありますが、左記の【引き抜きポイント】の通りご対応いただければ引き抜きできます</p>

5. 高圧洗浄

5-4. 洗浄手順

5-4-3. 最下階-地下ピットからの配管洗浄

7. 地下ピット掃除口からの引き抜き、作業完了

・地下ピット下の掃除口からの引き抜きは、合流継手で一旦引っ掛かります。

・そこで、30～50cm 程度ノズルを押し上げて、キッチン下のバンド管からの引き抜きと同じ要領で勢いよく清掃口から真上に引き抜いてください。

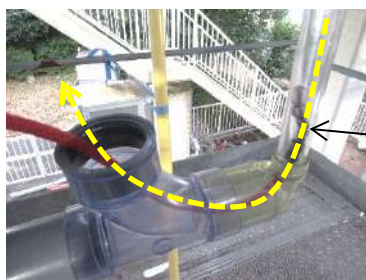
・もし、引き抜きが困難場合は右写真のようにノズル取り出し用治具（5-3. 8.参照）を使用し、ホースを下部へ押し下げながらノズルを取り出します。

・掃除口蓋部のパッキンに異物等の付着がないか確認し、その後、掃除口の蓋をしっかりと閉め、封印シールを貼付けます。

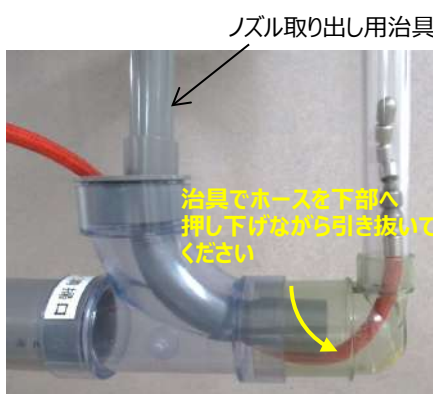
（マーキング位置までしっかりと閉めてください。）

・万が一に備えて全ての作業が終わったら、キッチン水栓を開き少し水を流して封水損失の対策をしてください。

・最後にキッチン下トラップ周辺や掃除口に漏れが無いかを確認します。



30～50cm 程度を勢いよく引き抜いてください



ノズル取り出し用治具

治具でホースを下部へ押し下げながら引き抜いてください



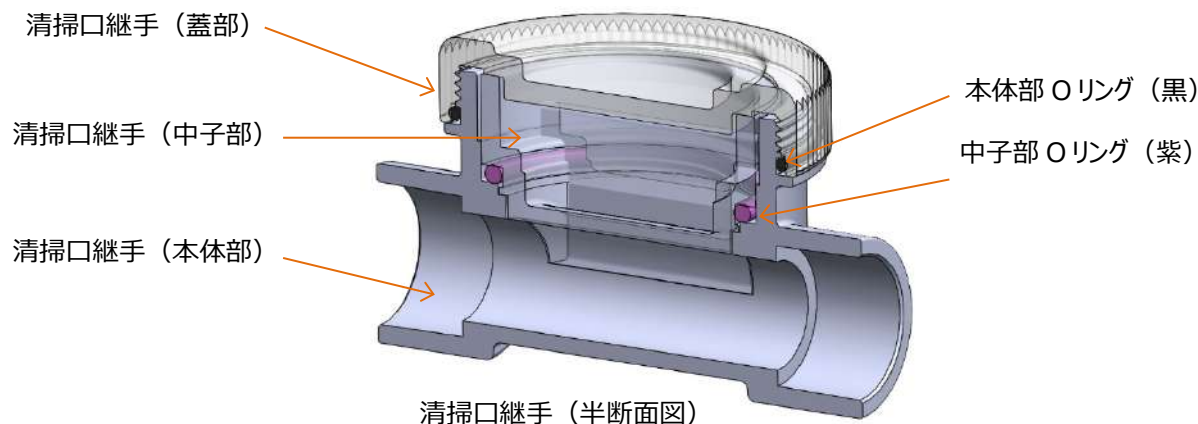
封印シールを貼付けます

6. その他、注意事項 (専門業者様向け説明事項)

○清掃口の構造について(タイプ 1) (蓋部・中子部は、物件により透明／有色樹脂仕様があります。)

清掃口の断面構造は下図の通りです。

蓋部と中子部に O リングが装着されており、蓋部を締め付けることで、止水できる構造です。



- ・清掃時、O リング部に付着している異物はウエスにて除去してください。(溶剤等は使用しないでください)
- ・O リングを傷付けないよう注意してください。
- ・傷付きなど異常を発見した場合は新品に交換してください。

○洗浄時の部材取扱いについて

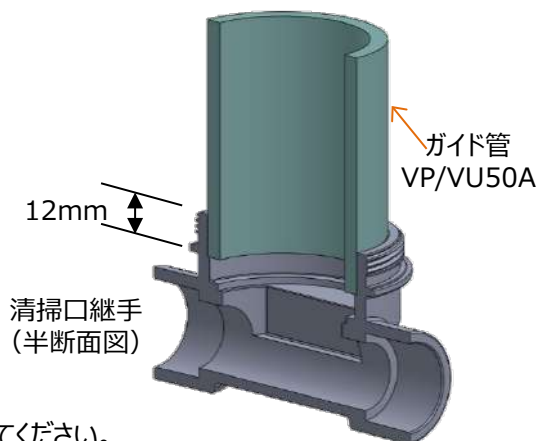
- ・ノズル先端を挿入、取り出す際、清掃口本体部の O リングと接触する部分を傷付けないよう注意してください。
(この部分を使用し、O リングで止水するため、止水不良の原因となり得ます。)
- ・洗浄時、蓋部、中子部を仮置きする際、傷や異物等を付着させないように注意してください。
- ・仮置きの際は、蓋部、中子部を下図のように保管してください。



※蓋・中子部は、仮置き時、
上向きにして仮置きしてください。

○ガイド管の挿入について

- ・ガイド管は、VP または、VU50A サイズで 100mm 程度の長さで準備してください。
(150mm 以上になると、場合によっては、ホースを送りこみ難しくなります。)
- ・清掃口に約 12mm 程度挿入すると止まります。
- ・12mm 以上無理に挿入しないでください。



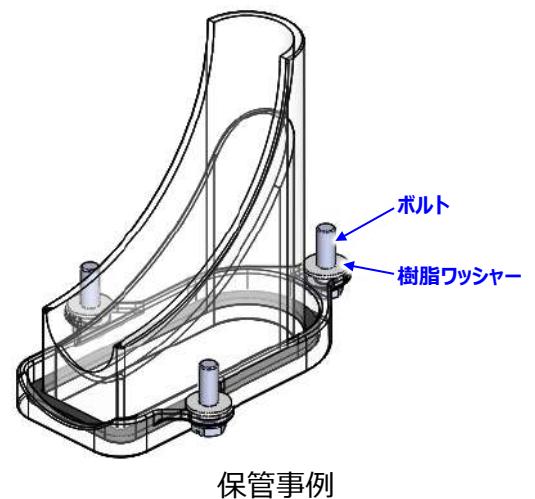
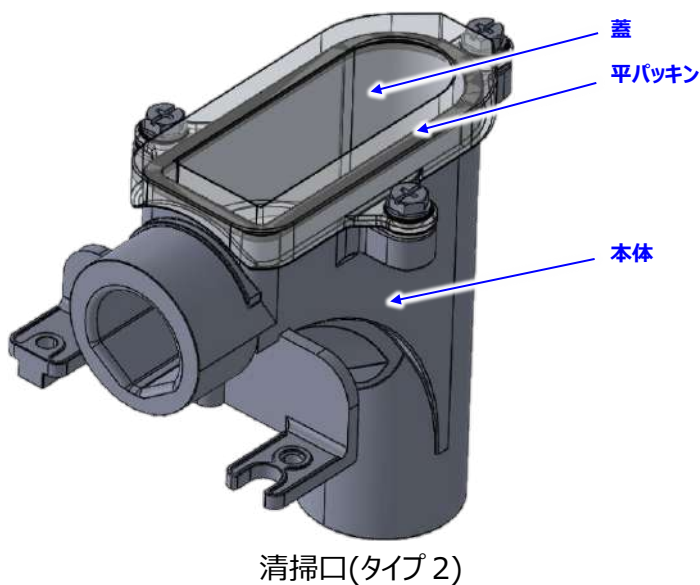
※清掃時、ガイド管にウエス等を巻き、洗浄水が外に漏れないようにしてください。

6. その他、注意事項 (専門業者様向け説明事項)

○清掃口の構造について(タイプ 2)

- (1) 洗浄作業時に平パッキンやその周辺を傷付けない様にしてください。
- (2) 平パッキンやその周辺に異物の付着を発見した場合は、異物はウエスにて除去してください。
(溶剤等は使用しないでください)
- (3) ノズル先端を挿入・取り出す際は、清掃口本体の平パッキンやその周辺を傷付けない様にしてください。
- (4) 蓋を取り外した際は、傷付きや異物等を付着させない様に注意してください。
(保管事例：下図の様に蓋を裏返して置きます)
- (5) 傷付きなど異常を発見した場合は新品に交換してください。

※清掃口の構造は下図のとおりです。蓋には平パッキンが装着されており、蓋を締め付ける事で止水する構造となっています。また、ボルトは樹脂ワッシャーで蓋に取り付けてあります。



○洗浄ノズルについて

- ・洗浄ノズルは、「5-3.準備部材」に示すノズル、ホース以外は使用しないでください。
- ※配管内でノズルがロックする可能性があります。

○清掃口継手の材質について

- ・清掃口継手は PVC (塩化ビニル) 製です。
- ・汚れをふき取る際、シンナー等の溶剤は使用しないでください。

7. 予備品・道具 (専門業者様向け説明事項)




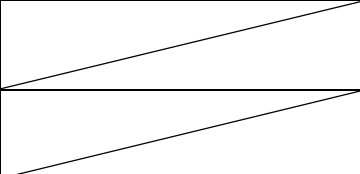


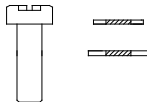
7-1. 予備品

破損・パッキンの劣化・詰まり異物の除去困難などの場合に備える。常備に関しては問い合わせてください。

名称	品番	写真	備考
共通			
封印シール	DSSR-70		通気弁アタッチメントユニットとトラップの締結部に使用します。 そのほか、ディスプレイ吐出口と清掃口に使用します。
1 インチ袋ナット (パッキン付き)	DSET-20A		1 つのトラップで 2 ヶ所使用します。
キッチントラップユニット(タイプ 1)			
キッチントラップ ユニット	DKTR-UAN2		キッチントラップ全体
通気弁 アタッチメントユニット	DAMT-UN1		ユニットとパッキンのセット ※取り付け時、 パッキン向きに注意
通気弁アタッチメント パッキン(2 ヶ入り)	NDTRP-APN1		通気弁用のパッキン単体 ※取り付け時、 パッキン向きに注意
ドレンキャップセット	DKTP-SET		トラップ下部の水・ゴミ抜き口部品
エアレシーバーユニット	DATKN1		煙突形状のカバーの中のシリコンゴム製の部品がセットされています。 異物除去時に傷つける恐れのある場合は新品へ交換してください。
キッチントラップユニット(タイプ 2)			
レシーバーユニット	DATKN2		エアレシーバーと通気弁が一体となったユニットです。
キッチントラップユニット	DKTR-UN3		キッチントラップ全体

7. 予備品・道具 (専門業者様向け説明事項)

7-1. 予備品

名称	品番	写真	備考
清掃口(タイプ 1)			
清掃口 蓋(※)	NDSK20A-FT		使用時には黒色の O リング (NDSK20A-OR2)が必要です。
清掃口 中子(※)	NDSK20A-NK		使用時には紫色の O リング (NDSK20A-OR1)が必要です。
ゴムカバー	DSK-C		同梱のインシュロックを用いて紛失しないよう、本体リブを通して配管と締結してください。
本体部 O リング (黒色) 10 ケ入り	NDSK20A-OR2		交換時はカッター、ドライバー等を使用しないでください。
中子部 O リング (紫色) 10 ケ入り	NDSK20A-OR1		交換時はカッター、ドライバー等を使用しないでください。
清掃口(タイプ 2)			
遮光シール	NDSKLS20J ×20A		清掃口(タイプ 2)で改めて貼る場合に使用します。
サイホン継手 20A 蓋セット	DSK20AX20A -FT-SET		中子一体型の蓋 パッキン、ボルト、ナット、ワッシャーの一式
サイホン継手 20A ボルトセット	DSK20AX20A -B-SET		ボルト、ナット、ワッシャーの一式

(※) 交換用としての蓋・中子部が必要な場合、注文時に「有色(灰色)仕様」・「透明仕様」を明らかにして注文してください。

透明仕様の場合は、遮光目的のゴムカバーが必要です。

7. 予備品・道具 (専門業者様向け説明事項)

7-2. 予備品・道具の購入

- (1) 7-1.の予備品、専用工具については、下記のホームページアドレスからアクセスしてください。
インターネット販売で購入することができます。

【<https://bse-ss.shop-pro.jp/>】

- (2) その他に関しては、ご用件と合わせ、下記までお問い合わせください。




8. チェックシート

- ☐ 作業が確実に行われたか、現地で効率よく記録を残すための様式例を次頁に示します。
(次頁をそのままコピーしての使用も可です。また必要に応じて、チェック項目を増やすことも可です。)
- ☐ 現地出勤を指示する会社やコールセンターから、依頼のあった場合などは確実に記録として残してください。
- ☐ 撮影となっている項目は、確実に撮影してください。

スマートサイホン 現地対応時 チェックシート

該当する欄に <input checked="" type="checkbox"/> を記入	訪問種類	応急復旧 ・ 定期 ・ その他		定期		その他の 記入欄→			
	日時	年	月	日 ()	:	～	:	所要時間	分
	物件					棟・部屋番号			
	DSP : ディスポーザ	会社・対応者			TEL		mail		

②(訪問時)確認・実施事項		項目	確認ポイントと実施事項など	実際の実施内容	この色は○付け or ブルダウン選択
①(訪問前)問合せ内容↓		(写真撮影ポイント)		左欄でチェックを付けていなくとも実施した場合は記入	
共通事項①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	入居者様からの ヒアリング	「いつぐらいからの発生」 「どのようなタイミングでの発生」 「その他、特徴事項」	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現着時状況	①完全詰まりか、排水が遅いかなどか？ (右のいずれかに、○・選択) ②その他、分かった情報を右記。	① 完全詰まり ・ 排水が遅い ・ 逆流 ・ DSP止まらない 、 ② その他
排水詰まり／ 排水が遅い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	DSP投入口	汚れが目立てば内周の歯をブラシ清掃	(写真撮影) 済 ・ なし 清掃 ・ 未清掃
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	運転確認	DSP動かし回復すれば終了	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	MB清掃口	配管内汚れと配管m数の確認	(写真撮影) 済 ・ なし
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	トラップ分解	トラップ内清掃と立ち上がり管の清掃	(写真撮影) 済 ・ なし (注)組立後には封印シールを貼る
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	立ち上がり管	立ち上がり管に排水があればトロー要	(写真撮影) 済 ・ なし 排水残り ・ なし
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水平管 トロー作業	トロー作業後、トラップ組立 ／排水確認	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	垂直管トロー作業	(ワイヤーブラシ：3m超で代用可)	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詰まり状況	①該当するものに、○・選択。 ②「詰まっていた物」と「箇所」を 想定できる範囲で、右欄に記入	① 魚の骨・卵殻・玉ねぎ(皮)・植物・フィルム・野菜系(繊維)・枝豆・プラスチック・コーヒーマグ・缶 (上記以外)⇒記入 ②実際に確認できた内容／想定された詰まり箇所などを下記。
漏れ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	箇所確認	内容確認し、撮影した場合は右に○	通気弁 ・ トラップ袋ナット ・ ディスポーザ ・ 床下点検口
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	通気弁から漏れ	通気弁アタッチメントユニットの交換	
臭い (臭い確認や該非に 従い交換など実施) ※キッチントラップユニット が手元がない場合は、通 気弁アタッチメントユニ ットとエアレシーバーユニ ットの組合せでの交換でも 可。その逆も可。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	封水量確認	封水少なければ、 通気弁アタッチメントユニット交換	封水あり ・ 封水無し⇒部品交換
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	通気弁	通気弁アタッチメントユニット交換	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	エアレシーバー	キッチントラップユニット交換	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	DSPゴムフレキ	DSP対応となることを説明	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	DSP投入口	DSP対応となることを説明	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特定できず	経過観察orキッチントラップユニット交換	
音	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事前確認	各種動画が 確認できます。 	食洗機からの音の場合は、依頼元へ情報を戻す
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	確認	入居者情報から確認	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	通気弁	排水口からの音→通気弁アタッチメントユニット交換	
最終確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	入居者様 確認など	・説明の上、了承頂いた内容 ・入居者様からの指摘事項 などを、右欄に記入	上記以外に対応した内容や、ポイントがあれば記入

- ◆作業完了時は、周りの汚れなどをふき取り、忘れ物がないかを確認してください。
- ◆MB内の清掃口を開けた際は、**確実に蓋を締結し、封印シールを貼付**してください。
- ◆付帯の【使用方法・お手入れ方法(取説)】を入居者へご案内ください。
「DSPは途中で止めない」「DSP運転時、水を溜めて運転をしない」「(週に1回)お手入れ」「投入禁止物」
- ◆交換した回収品は、**ブリヂストン横浜工場までご送付**をお願いする場合があります。

化 PL 施 71-01 付属書 02 ディスポーザ付キッチン排水系統メンテナンスマニュアル
改訂履歴

日付	改	頁	備考
2020 年 04 月 14 日	1	全頁	新設(化 PL 施 71-01 付 01K03 を元に新設)
2020 年 09 月 04 日	2	全頁	全面最新版見直し
2022 年 03 月 08 日	3	全頁	全面最新版見直し(特記：海外食洗機対応用部材)
2022 年 05 月 17 日	4	9, 28	参考動画掲載 URL 改訂
2022 年 12 月 22 日	5	1～3 1・4 23～29 31	「日頃のご使用に関して」を取説(22 上期)に合わせ、見直し 海外食洗機用トラップに関して、追加記載 サイホン継手仕様の追加(細長形清掃口) チェックシート見直し
2024 年 5 月 17 日	6	全頁	全面最新版見直し 特記：新規部品に対する作業方法の追加 復旧方法、高圧洗浄方法の最新見直し 予備品・道具購入先変更に伴う改訂